

2008年度入試変更点(予定)

| | | |
|-----------|--|---|
| 医学部 | 01 岩手医科大学 | 【定員】推薦、一般ともに定員増の場合あり。現在予定の人数で昨年と同じ人数が発表。【出願期間】推薦が前年より開始が1週間ほど早く期間が長い。【試験会場】一般1次の盛岡会場が、本学から盛岡のホテルホリタに変更。また本学は、教養部から矢巾キャンパスに変更。 |
| | 02 自治医科大学 | 【募集人員】変更⇒100→110名(予定) |
| | 03 獨協医科大学 | 【受験料】UP⇒一般5万→6万、推薦3万4千→4万 【AO】提出書類に字数制限が付き、2次試験に小論文が追加された。 |
| | 04 埼玉医科大学 | 【募集人員】推薦 約15→約10、一般前期 50→55 |
| | 05 杏林大学 | 【会場】一般1次の東京会場の変更(代ゼミ→京王プラザホテル) 【学納金】入学金UP(500,000→1,500,000) 【試験】すべてマーク式へ 【出願期間】センター利用で、最終日が必着から消印有効になった。【試験時間】一般で、開始が30分早くなった(9時半→9時開始) |
| | 06 慶應義塾大学 | |
| | 07 順天堂大学 | 【学納金】大幅引き下げ⇒1年次260万円減、6年間で、880万円減。【募集人員】前期一般60→65、後期センター10→5(前期センター変更なしで20) 【願書受付期間】後利用も、前期と同じ締切日になった。【試験日】後利用の二次試験日が約1週間後にずれた(3/5,6→3/12,13) |
| | 08 昭和大学 | 【学納金】引き下げ⇒1年時の教育施設充実費が150万減で400万、特待生は入学金の150万のみ(昨年は授業料の250万あり)、2年次以降も毎年555,000円減で、6年間で400万円減。 |
| | 09 帝京大学 | |
| | 10 東京医科大学 | |
| | 11 東京慈恵会医科大学 | |
| | 12 東京女子医科大学 | 【募集人員】公募制推薦 約18名→20名(指定校推薦は変わらず約12名) 【試験会場】一般1次 本学のみ→本学と東京のリーガロイヤルホテルが追加 【合格発表方法】一般1次のみHPが追加 |
| | 13 東邦大学 | |
| | 14 日本大学 | 【募集人員】表記の変更→前年は一般入試92名だったが、今年から「附属推薦15名以内、校友子女3名以内を含む」とし110名に(実質一般の人員変更なし)。【出題範囲】数学Bの「統計とコンピュータ」、数学Cの「確率分布、統計処理」を除外、化学Ⅱに「生活と物質」「生命と物質」を含める。【出願】日本大学入試センターが開設。一般入試の出願をここに一本化し、窓口受付も開始(一般以外は従来どおり各学部入試係で窓口受付もなし)。 |
| | 15 日本医科大学 | 【学納金】引き下げ⇒入学金100万円減(200万→100万)、施設整備費を初年度48万円UP、2年次以降5万円UPとした。1年次は52万円減、6年間で27万円減。【面接】07入試から、討論に個人面接がプラスされた(討論の時間が80分→40分に短縮) |
| | 16 北里大学 | 【学納金】11月実施→1/27,2/31に行う(一般入試と同じ日、同じ試験を使用するが、数学は問題の一部、理科は化学・生物を受験(物理はなし)) |
| | 17 聖マリアンナ医科大学 | 【試験時間】一般で、開始が30分早くなった(9時半→9時開始)、終了時間は同じ(間の休憩時間が長くなった)。【学納金】項目名などの内訳(金額は前年と同じ)。 |
| | 18 東海大学 | 【試験会場】2/6(1回目の試験)の試験会場に、本学・東京以外に、名古屋会場が追加 |
| | 19 金沢医科大学 | 【試験日】一般1次→前年はセンター前(1/16)→センター後(1/24)、推薦→前年11月第2日曜(11/12)→第3土曜(11/17) 【出題範囲】数学C(式と曲線)の追加(一般) 【試験会場】名古屋、仙台のホテルの変更 【学納金】納入方法が一括→前期・後期の分納へ |
| | 20 愛知医科大学 | 【試験会場】一般1次 大阪会場がグランキューブ大阪(大阪国際会議場)に変更(←大阪会館大阪ガーデンパレス) |
| | 21 藤田保健衛生大学 | 【試験日】推薦が6日ほど遅い(11/12→11/18) |
| | 22 大阪医科大学 | 【試験制度と募集人員】一般で、前期・後期を導入。一般90名・センター10名→一般前期85名、一般後期10名、センター5名 【試験会場】一般1次で前年大阪・名古屋→一般1次(前期)大阪・名古屋に広島が追加、また一般1次(後期)は大阪のみ。 |
| | 23 関西医科大学 | 【受験料】UP⇒一般・推薦 5万→6万 |
| | 24 近畿大学 | 【出題範囲】生物Ⅱが「生物現象と物質」までに変更。 |
| 25 兵庫医科大学 | 【募集人員】推薦20→15、一般80→85 【推薦の適性テスト内容】前年「与えられた資料、問題の理解力、判断力、解決力や、高等学校卒業レベルの基本的知識をみて、医学を修得するための適性を判定するもので、特別に準備する必要はありません。」→08年度「英語、数学、理科に関して医学を修めるための適性を検査する。」 | |
| 26 川崎医科大学 | 【試験日】一般が、1次は昨年とほぼ変わらないが、2次が5日ほど早まり、正規合格発表日、手続き日は昨年より1週間くらい早い。推薦は、出願締切日から手続締切日まで、全体的に1週間遅い。 | |
| 27 久留米大学 | | |
| 28 産業医科大学 | 【試験会場】一般第2次学力検査会場で、大阪会場を新設し、北九州、東京に加え3会場となる。 | |
| 29 福岡大学 | | |
| 歯学部 | 51 北海道医療大学 | 【試験制度】センターが、前期・後期→前期A・前期B・後期の3回へ 【募集人員】前期18名→前期A10名、前期B8名へ 【試験科目】前期Bは英・数から1科目と理科から1科目の2科目(前期Aは英・数・理の3科目)。【試験会場】一般前期で、新潟が廃止→旭川、秋田が追加 【その他】出願期間が必着から消印有効に変更。 |
| | 52 岩手医科大学 | 【推薦】評定が1昨年と同じ、数値に戻った(去年「学習成績概評」がAまたはB →今年 3.5以上) 【試験会場】一般一期で、盛岡の本学→盛岡のホテル、札幌→仙台会場へ変更、福岡のホテル変更 |
| | 53 奥羽大学 | |
| | 54 明海大学 | 【編入学】出願資格が昨年は「理系大学、またはこれに準ずる学部・学科の」大卒・見込み者であったが、「」内の表記がなくなり、理系の大学卒でなくてもよくなった。ただ、「特に本学1年次の必修科目である英語・数学および理科系科目を習得していることを原則とする。」は変わらない。 |
| | 55 東京歯科大学 | |
| | 56 日本大学(松戸) | 【推薦の試験】小論文の時間 90分→60分 【出願】日本大学入試センターが開設。一般入試の出願をここに一本化し、窓口受付も開始(一般以外は従来どおり各学部入試係で窓口受付もなし)。これに伴い、2期も1期と同じ1/8～出願できる。【編入】出願資格が大学で35単位以上取得となった(←34単位)、また試験日など、約1週間程早くなった(試験日11/24→12/2)、試験内容に適性試験(60分)が追加された。 |
| | 57 昭和大学 | 【Ⅱ期の試験日と試験科目】Ⅱ期が昨年より10日ほど遅い(昨年3/4→3/15)、また、試験科目がⅡ期もⅠ期と同じ、英・数・理3科目受験(小論文)となった。ただ時間割がⅠ期は英・数で120分だが、Ⅱ期は数・理で120分。【試験時間】Ⅰ、Ⅱ期ともに、1科目50分→60分、2科目100分→120分となった。【試験会場】一般Ⅰ期福岡会場追加 【推薦】評定平均が3.0→3.5になった。【学納金】新入生の特待制度が5名→10名となった。 |
| | 58 日本大学(歯) | 【出願】日本大学入試センターが開設。一般入試の出願をここに一本化し、窓口受付も開始(一般以外は従来どおり各学部入試係で窓口受付もなし)。【学納金】引き下げ⇒1年次150万円減、6年間で276万円減 |
| | 59 日本歯科大学(歯) | 【試験科目】一般入試で選択科目から独語を外す(外国語＝英語のみになった)。 |
| | 60 神奈川歯科大学 | 【配点】小論文が100点→50点に。Ⅱ期の面接が20点→30点に。 |
| | 61 鶴見大学 | 【募集人員】一般Ⅰ期78→73、Ⅱ期5→10 【合格発表方法】推薦・一般ともHP発表追加。【編入】出願資格で「鶴見大学短期大学歯科衛生科(3年制)を卒業した者」の範囲が、「前年度卒業生だけ」から卒業年度の制限がなくなった。 |
| | 62 日本歯科大学(新潟) | 【試験科目】一般入試で選択科目から独語を外す(外国語＝英語のみになった)。【合格発表方法】推薦もHP発表追加。 |
| | 63 松本歯科大学 | 【募集人員】推薦20→18、一般中期30→35、一般後期13→10 【編入学試験】1回→2回に変更、また、前年度試験で秋季入学の編入学試験が追加された(これを合わせた3回) 【受験料】推薦3万→4万でUP、センター2万→1万5千で減。【試験時間】推薦の開始時間が2時間早くなった(11時→9時開始)。 |
| | 64 朝日大学 | 【試験制度】一般でⅠ期、Ⅱ期制を導入(Ⅰ期→1/30(昨年は2/1)、Ⅱ期→3/1) 【募集人員】一般Ⅰ期73名、Ⅱ期5名で計78名(←昨年68名)で10名増、推薦が指定校+公募で40(←昨年指定校30、公募20の計50)で10名減。【小論文】推薦の時間60分→90分(字数1000字は変更なし、また試験開始時間が30分早い)。一般の時間40分→60分、字数が500字→1000字に変更。【編入】試験日が10日ほど遅くなった(11/1→11/11)、受験資格が理系大学というのが外れた。【面接】07は、一般の面接が個人面接だった。 |
| | 65 愛知学院大学 | 【試験制度】センターでⅠ期・Ⅱ期制を導入(Ⅰ期は昨年同様中期と同じ試験日、Ⅱ期は後期と同じ試験日で、試験科目も後期と同じで英なしの数・理) 【募集人員】中期8名→7名(1名減)、センター8名→Ⅰ期8名・Ⅱ期3名(3名増)、AO6名→4名(2名減)、指定校推薦20名→未定(昨年から人数非公表) ※AO募集人員は、前年は6地域で各1名ずつで計6名だったが、今年度は6地域に分けるが、全体から4名という設定に変更。【試験日】編入が1ヶ月早い(10/25→9/16) 【出願期間】出願日切日の翌日の正午まで持参可(全制度)。 |
| | 66 大阪歯科大学 | 【試験日】推薦が約1週間早い(11/25→11/17)。合格発表日は変わらない(12/13→12/12) 【教科内容】数学Bが数列とベクトルのみの出題範囲となった(昨年は全範囲)。 |
| | 67 福岡歯科大学 | 【試験制度】AO入試を実施 約15名(推薦枠が30名→15名となった) 【面接】30分グループ面接→30分グループ討論 |